



## VBA エキスパート公式テキストによる学習の進め方

本書では、次のように学習することをおすすめします。

**Step1** : テキストに沿って Excel ブック上で操作しながら学習する



**Step2** : 演習問題で実際にマクロを作成することにより、理解を深める



**Step3** : 模擬問題（プログラム）で理解度を確認し、試験に向けた準備をする

サンプルブック、演習問題、模擬問題（プログラム）の使い方は次のとおりです。

### ■サンプルブックの使い方

本書の中で掲載している VBA のコードはサンプルブックとして提供しています。本書の解説に沿って、実際に Excel ブック上で操作を行い、わからないところはサンプルブックを参照しながら学習を進めましょう。疑問に感じたところは、さらに自分でヘルプを調べることにより、学習効果が向上します。

サンプルブックのワークシートには、データは入っておりません。コードの実行に必要なデータはワークシートに入力の上、実行してください。

Excel 2007 をお使いの方は拡張子「.xlsm」のブック、Excel 2000 ～ Excel 2003 をお使いの方は拡張子「.xls」のブックをご利用ください。サンプルブックは章ごとに、ブックの名前に章番号がついたものをご用意しています。ただし、サンプルブックがない章もあります。

<サンプルブックの名前> ExcelVBASstandard\_章番号.拡張子

例) 第2章サンプルブック (Excel 2007 用)・・・ExcelVBASstandard\_02.xlsm

## ■ 演習問題の使い方

---

本書では、演習問題とその解答例・解説を提供しています。テキストに沿って学習した後は、各章ごとに用意された演習問題をやってみましょう。

演習問題は VBA エキスパート「Excel VBA Standard」の試験とは出題形式が異なり、実習形式の問題を多く用意しています。実際にマクロを作成することによって、テキストに沿って学習した内容の理解が深まります。

実習形式の問題の解答は一意ではありません。解答例を参考に、いろいろなコードの書き方を学習しましょう。

## ■ 模擬問題（プログラム）の使い方

---

本書の模擬問題では、VBA エキスパート「Excel VBA Standard」の試験により近い環境で問題にチャレンジできます。テキストの最後まで学習し終えたら、模擬問題に挑戦しましょう。

出題形式は、試験と同じ選択式問題で、出題数は 40 問、試験時間は 50 分です。本プログラムで 2 試験分を練習することができます。解答を終えると結果が表示され、カテゴリごとに成績が表示されます。苦手なカテゴリはテキストに戻ってもう一度学習し、理解を深めましょう。